

# 放射線 たより ＊Radiation News＊

Vol.4 , 2022(Apr)



**地域の皆さまへ ～「放射線たより ＊Radiation News＊」をお届けします！～**

## 乳がん検診のご紹介

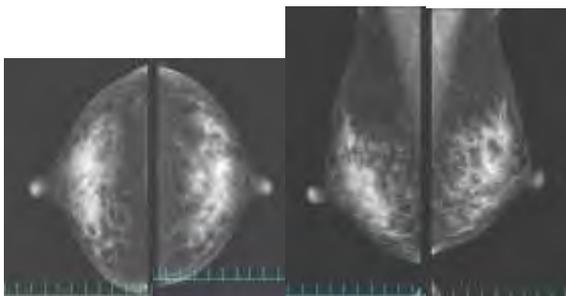
乳がんは、わが国の女性のがんの中で罹患する人が多く、死亡原因の上位に位置するがんです。

りんくう総合医療センターでは、毎年、地域住民の皆さまのために乳がん検診を実施しています。

クーポンをお持ちの方（がん検診推進事業）は、無料で受診いただけます。詳しくは、各市町の担当窓口にお問い合わせください。

### 【実施要領】

- 実施日：6/19, 7/17, 9/18, 11/20,  
令和5年1/15, 3/19の各日曜日午前  
**毎週金曜日（15時～）**
- 定員：各実施日24名、平日は1名（先着順）
- お問い合わせ、お申込み：  
健康管理センター072-469-3111(内線：1296)



### 令和4年度

#### （泉佐野市・熊取町・田尻町の市町村検診事業）

【マンモグラフィ】乳房を圧迫板で薄く引き伸ばして行うX線撮影です。早期の乳がんを発見するのに有用で、乳がんの死亡率を減少させることが科学的に認められている検診方法です。

当院では、認定資格を持った女性の診療放射線技師が撮影を担当していますので、お気軽に受診していただけます。



### 【お知らせ】

乳がん検診は、「視触診・問診とマンモグラフィの併用」で行ってききましたが、厚生労働省「がん検診のあり方に関する検討会」（2015年9月）において見直しが行われ、「視触診については死亡率減少効果が十分でなく推奨しない」という指針が出されていたので、令和4年度から「**問診とマンモグラフィの併用**」で実施させていただきます。

# ※※《 Topics 》※※ CTによる新型コロナウイルスの検査！

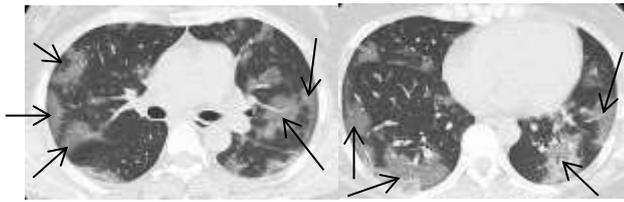
新型コロナウイルス オミクロン株による第6波の影響は、大阪府内の医療を逼迫（ひっばく）し、我々の施設でも救急患者さんの受け入れや予定入院に少なからず影響が出ました。

この新型コロナウイルス感染症は、コロナ肺炎と呼ばれる呼吸器の症状が出るため、感染の初期病態を評価するため、また治療戦略を立てるうえでもCTによる画像診断は非常に有用で、CT検査が多く使われてきました。

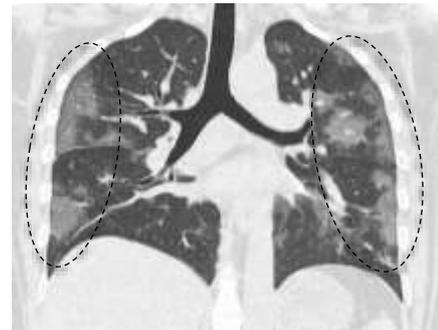
ここでは、実際の画像を用いて新型コロナウイルス感染症の特徴的な肺炎像をご紹介します。



感染対策の防護衣を着けて検査を実施します。



横断面の画像（肺野条件）。コロナウイルス感染症患者さんに多く見られる、いわゆる「すりガラス状の陰影」（→）が左右の肺野内に広がっています。



冠状断画像は、上下や左右方向の広がりがわかりやすい。

## 【シリーズ より安全な造影検査を目指して！】

### その3：患者様への確認事項

MR検査では、いろいろな組織コントラストが得られ、造影剤を使用しなくても血管を描出できるという特徴があります。しかし、造影検査を行うことによって、病巣をより明瞭に描出できるため、疾患や検査部位によっては、より正確な診断を行うために造影が必要になります。

造影剤は、主にガドリニウムという元素を含み、静脈内に注射され、全身の血管や臓器に分布していきます。稀にはありますが副作用の発現がありますので、添付文書の「禁忌」「原則禁忌」の項目などを参考に問診を行い危険因子のチェックをしたうえで、安全に検査を実施しています。

【添付文書に記載されている禁忌】

- ✓ 本剤の成分又はガドリニウム造影剤に対する過敏症の既往歴がある。

### （ガドリニウム造影剤編）

【添付文書による原則禁忌】

- ✓ 一般状態が極度に悪い。気管支喘息がある。
- ✓ 重篤な腎障害がある。

【添付文書による慎重投与】

- ✓ アレルギー性鼻炎、発疹等を起こしやすいアレルギー体質。両親兄弟に気管支喘息、アレルギー性鼻炎、発疹等を起こしやすいアレルギー体質がいる。
- ✓ 薬物過敏症の既往歴がある。
- ✓ 既往歴を含め、痙攣やてんかん及びその素質がある。
- ✓ 腎障害がある又は腎機能が低下しているおそれがある。
- ✓ 高齢者。

### ★★★★★ 編集後記 ★★★★★

4月1日より、病院内の組織名称の統一化によって、放射線部の名称が、『放射線センター』に改称されました。

しかし、業務の内容をはじめ地域からの検査受託に関しては、今までどおりの体制に変わりはありませんので、引き続きよろしくお願いいたします。（中前）

### 放射線たより（Radiation News）

放射線科・放射線治療科・診療支援局放射線部門  
発行責任者：中田耕平（放射線センター 長）  
編集責任者：中前光弘（放射線センター 副センター長）  
Vol.4 発行日：2022年4月1日